

公益財団法人 檜の芽会 御中

伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】	① 作成日	令和6年5月31日	
②法人・団体名	特定非営利活動法人 八王子つばめ塾		
③所在地	〒192-0081 東京都八王子市元横山町1-10-3		
④責任者氏名	小宮 位之	(役職名等)	理事長
⑤担当者氏名	林 晃太郎	(役職名等)	理事

【奨学活動の概要】	⑥助成交付決定番号	R05-024	⑦助成金額	85万円	⑧申請カテゴリー	DS
⑨奨学活動名	八王子つばめ塾					
⑩主な実施場所	①八王子駅前教室 ②北野教室 ③南大沢教室 ④元横山教室					

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式3-2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

市内4か所で学習支援を実施。対象者は経済的に苦しいご家庭の中学生と高校生（高校生は令和5年度は休止）です。中学3年生を中心に20名に実施しました。

学習支援員は全員がボランティア講師です。

今年度は、1次入試に不合格だった生徒も1人いましたが、最終的には全員が都立高校に全員が合格することができました。

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式3-2等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A:人)	平均時間 (B:時間)	活動量 (A x B)	備考・補足
中学生等	1440	2	2880	在籍生徒20名 週2回 1回2時間で計算
高校生等	0	0	0	在籍生無し
大学生等	0	0	0	支援を受ける立場の大学生は在籍せず
学習支援員等	1080	2	2160	在籍ボランティア講師30名 週1回 1回2時間で計算
その他	0	0	0	
合 計			5040	

⑬その他の定量的な数値（任意）

令和5年度 伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：八王子つばめ塾

法人・団体名：特定非営利活動法人八王子つばめ塾
作成者 氏名：小宮 位之

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

経済的に苦しいご家庭の中学生・高校生に対し、無料で学習支援を実施した。今、いわゆる塾や家庭教師などの「学校外の学習」が、高校や大学進学に大きな影響を及ぼすことは、周知の事実であります。特に弊法人が本拠地を置く「東京都八王子市」をはじめとして、都市の郊外部では、通塾率がとても高く、塾無しでは公立高校受験は難しいと言われています。

弊法人では、経済的に苦しいご家庭の中学生を中心に無料で学習支援をすることで、この格差の解消に、少しでも貢献したいと考えて、実施している。

市内4教室で、週2回、英語・数学を実施。夏休み、冬休みには、季節講習を実施した。

2. 実施した奨学活動の詳細

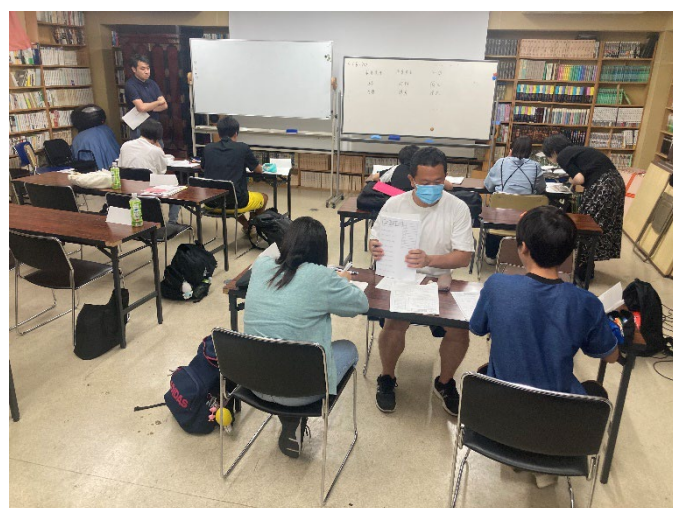
教室

市内4か所の教室があります

①八王子駅前教室

場所は、JR八王子駅北口にある「八王子市生涯学習センタークリエイトホール」を週3回ほど借りています。同じ日に、ここから徒歩1分のところにある、「アミダステーション」も借りています。数学と英語に分かれて授業をしています。アミダステーションは、市内の寺院（浄土真宗本願寺派延立寺）の所有施設です。令和5年度は月曜日、水曜日、土曜日に実施しました。（この中で、生徒は週2回通うことになっています。）

写真左がクリエイトホールでの授業風景、右がアミダステーションでの授業風景です。



②南大沢教室

ここは、生涯学習センター南大沢分館の会議室を利用しています。令和5年度は日曜日と金曜日に実施しました。



③北野教室

ここは、数井クリニックという訪問医療のクリニックが、地元の高齢者のための高齢者サロン「スーヴニールの森」を運営していて、誰も使っていない夜間に貸してもらっています。毎週木曜日に開催しており、この所属生徒は八王子駅前教室か南大沢教室にもう1日通うことになっています。



④元横山教室

高校生用教室ですが、今年度は高校生がいなかったので、教室としてはあまり使いませんでした。ただし、中学生が使うテキストを「図書室」のように並べてあります。また、生徒への食料支援事業やノート消しゴムなどをプレゼントする置き場（倉庫）としては有効に活用しています。

参加人数

生徒は、3教室合わせて、18名の中学3年生、2名の中学2年生が所属しました。都立高校受験をターゲットにしているので、中学3年生を最優先に受け入れています。席が余ったら2年生を入れています。毎週2日の参加です。

講師は、およそ30名のボランティア講師が学習支援員として活躍してくれました。社会人が7割、大学生が3割ほどです。

周知方法

おもに、ホームページを利用しています。X (Twitter) や Instagram もアカウントを持っていますが、あまり活用していません。

支援者

つばめ塾には多くの支援者がいます。現金寄付下さる「寄付者」は年間100名ほどおられます。パスタやお米、問題集などを送ってくださる「支援者」も30名ほどいらっしゃり、活動に必要な資金、物品はまかなえておられます。

3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

この活動を始めて、11年になります。教育は、細くても長く続けることが必要と考えています。ですので、得られるものは、毎年同一です。経済的に苦しいご家庭にとって、無料での学習支援は、何よりも得難いものであるとの確信です。入塾から卒業するまでの多くの授業が行われ、それにより、ほとんどの生徒が大きく成長し、進路を決めていきます。その大事な時期に、つばめ塾が応援できたことは、塾として大きな誇りです。決して私たちが導いたものではありません。彼ら彼女らが自ら切り開いたのです。私たちは、その下支えをしたに過ぎません。その成果を外にアピールするのではなく、講師一人一人が心の中において、そっと誇りに思えばよいと考えています。

反省点はありません。細かいことは沢山ありますが、それは修正すべき点であって、反省ではありません。ただひたすらに学習支援を実施していくことこそが、生徒の利益につながると考えています。

今後の発展性としては、拠点を増やすことだと考えています。1つの教室がとても素晴らしいものになったとしても、その教室に通って来られるのは、わずかな生徒です。しかし、その80%の完成度の教室でもいいから、少し離れたところにできたら、その近くの生徒は助かります。無料学習支援は、勉強の全てを手取り足取り教えるものではありません。生徒にとって、勉強へのきっかけです。完璧な講師、完璧な教室でなくてもいいのです。生徒に寄り添って教える環境を整えば、あとは生徒自身が自分で走り出せます。そのきっかけを作れば良いのです。そういう意味において、これからは八王子以外の拠点を増やすことが発展だと考えています。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

上記の「発展」という視点に立つとき、貴財団から頂いた助成金は大きな意味を持ちました。既存の教室の資金を提供頂けたということは、新規教室の準備・実施に資金を割けるということの意味するからです。実際、2024年4月から、大阪府の枚方市に、「枚方つばめ塾」を開設することができました。これは、資金の全てを八王子つばめ塾が拠出するタイプのつばめ塾です。これからは、ご縁ある方とのコミュニケーションをとおして、多くの地域に「つばめ塾」を作り、多くの子どもたちを応援していきたいと思っております。

5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリーにて「S」が付されている団体）

國學院大學経済学部教授 宮下雄治

八王子つばめ塾は、2013年設立まもなくに知りました。無料で学習支援を行うという、当時にして珍しい活動に関心を持ち、それからしばらくして見学に伺い、説明を受けました。経済的に苦しいご家庭の子どもたちのために、学習支援に取り組む八王子つばめ塾理事長の小宮氏の理念と熱意に感銘を受けました。かねてより深刻な教育格差の是正に一つの光がみえ、その後も継続して同塾の活動の一端に関わらせていただいています。

小宮理事長とお会いした翌年から、「都立高校の推薦入試面接練習会」の面接官役をお引き受けし、1年に1度、塾にお邪魔しています。つばめ塾のお子さんは、とても真面目で勉学意欲を持ち合わせており、その進路に少しでも役に立てばと思い、様々な角度からアドバイスをしています。

また、小宮氏は、私が所属する國學院大學の文学部の出身であり、そのご縁もあって、本学経済学部の授業に毎年のように講演をして頂いています。

行政機関からの助成金、補助金を一切受け取らず、個人や企業からの寄付金・民間の財団からの助成金のみで活動が成り立っていることは、大変有意義であり、これからの「市民活動」の手本になるべき存在とも感じています。私はマーケティングを専門としてあらゆる組織と関わってきましたが、とりわけ無料塾の草分け的存在であるつばめ塾の小宮氏及びボランティア講師の方々が社会に与える影響力はきわめて大きいと考えています。受益者である「生徒、ご家庭」、支援者である「ボランティア講師」、同じく支援者である「寄付者」の三方にとって、納得のいく活動を展開し、さらにそれが各地の新聞、雑誌、テレビ、ラジオで取り上げられ、「無料塾」の存在を知らしめていることは、「八王子」にとどまらず、日本全国に良い影響を与えていることを痛感しています。

経済格差が教育格差に与える影響の改善に、八王子つばめ塾の活動が、これからも役に立つことを願ってやみません。

以上